

# シー・エス C・S みやいけ

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



校長先生のお話(始業式)

## 夏休みが終わり、2学期がスタート!!

夏休みには、5年生が野外活動を体験し、自然の中でたくさんの思い出をつくることができました。毎年恒例のラジオ体操には、子どもやその家族、地域の人たちが早起きして参加し、どの会場も例年以上にたくさんの人たちで活気がありました。各会場でリーダーを担ってくれた成岩中学校の皆さんありがとうございました。

厳しい猛暑やコロナ、熱中症にもめげず元気に過ごし、みんなそろって充実の2学期をスタートすることができました。



森の散歩(5年生野外活動)



白山公園でのラジオ体操

## 子ども食堂「みやっ子サロン」



食事ができるまでの勉強と工作

夏休み中も「みやっ子サロン」がありました。

カレーライスをいただくまでの時間には、大学生や地域の人たちがマンツーマンで寄り添う「学習タイム」や「ふれあいタイム(工作やゲーム)」を行いました。

8月には、中学生がボランティアとして参加してくれて、みんなで楽しいひと時を過ごしました。



みんなで配膳

## 協和区青パト隊から、ありがとう!!

市内自治区には、車の屋根に青色の回転灯をつけて交通安全や犯罪防止を呼び掛けながら地域を巡回する「青色パトロール隊」が活動しています。

私も、協和区の隊員として、月1回区内をパトロールしていますが、宮池小学校の近くを通ると、下校途中のほとんどの小学生が笑顔で手を振ってくれます。とてもうれしく元気になります。ありがとう。

### 第3回学校運営協議会開催(9月13日)

開会にあたり、榊原安宏会長から「学校運営協議会の活動が、学校と地域住民、若い学生さんたちとのコラボで、子どもたちにとって貴重なふれあいの場になっている。これからも、支援が必要な子どもへの寄り添いや居場所づくりに努めていきたい。」、笠井香里校長先生からは、「子どもたちは、夏休みを有意義に過ごしていた。2学期も、運動会や修学旅行などの教育活動を通して、成長していく姿を楽しみにしている」とあいさつされました。

その後、前成岩中学校長(現星城大学特任教授)の山崎文宏先生から、『みんなで創る夢に向かう物語』をテーマに、みんなで学び合う研修会を開催しました。

「夢に向かう物語」の主演は子どもたち一人一人、主役を支える脇役は周りの大人たち。脇役の関わり方が、主役が成長していく物語を創っていく…。保護者や先生たちと一緒に



思いを語る山崎先生

私たち地域住民も脇役として加わり、わくわくするような子どもたちの物語ができあがっていったらと思いつきながら、お話を聴かせていただきました。お話の中に、「社会△、支援は□、言葉は○」と示され、「△、□、○」にはどんな言葉が入るかと問いかけられました。答えは、「社会△(参画)、支援は□(視覚、死角、聴覚・嗅覚・味覚・触覚)、言葉は○(まるく)」でした。まさに、地域住民として、子どもたちとのふれあいの大切さを自覚する機会になりました。

ほのぼのとしたぬくもりのあるお話をお聴きしながら、山崎先生の現役時代を思い起こしました。ありがとうございました。

### 宮池小応援団 除草作業(9月17日)・親子 除草作業(9月21日)

夏休み中にたくさん伸びた校庭の草を刈りました。第一弾は、宮池小応援団が頑張りました。第二弾は、子どもたちと保護者の皆さんが頑張りました。日頃は、先生方が頑張って刈ってみえますが、あれだけの広い校庭、しかも、刈

っても刈ってもすぐ伸びるたくましい草たちです。みんなで協力して、すっかりきれいになりました。次も頑張らしましょう。



応援団の草刈り



親子で草刈り